

DNA免疫法による ウサギモノクローナル抗体作製

DNA免疫法によるウサギモノクローナル抗体作製

～機能性・高親和性抗体を作製する独自技術～

DNA免疫法

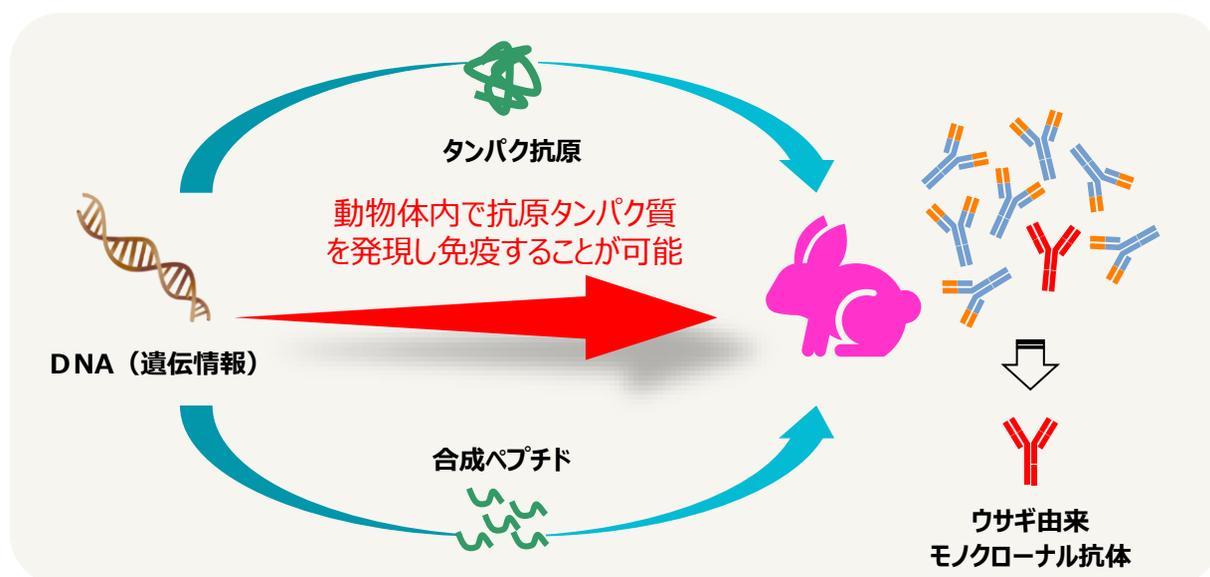
ネイティブフォームを認識する
機能的な抗体が取得可能な免疫手法



ウサギ モノクローナル抗体

ウサギB細胞からの
抗体遺伝子クローニングにより
モノクローナル抗体を作製

高機能・高親和性抗体



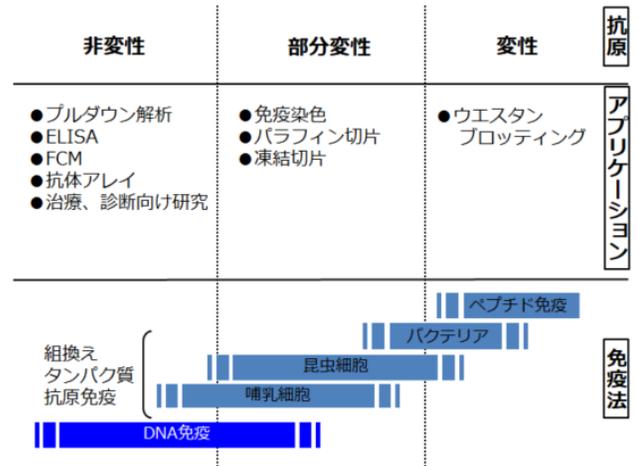
DNA免疫法による抗体作製

～ネイティブフォームを認識する機能性抗体取得に最適な作製法～

立体構造を認識する抗体

DNA免疫法では、DNAを動物に投与して動物体内で抗原タンパク質を発現させて免疫するため、ネイティブフォーム（立体構造）を認識する抗体が取得可能です。

アプリケーションでは、非変性タンパク質を使った実験・解析に適しており、他の方法と比べて親和性が高い抗体の取得が期待できます。また、機能性を保有していることから、抗体医薬・診断向けの研究にも最適です。中和抗体を作製した実績も多くございます。



富士フィルム独自のウサギB細胞スクリーニング法と遺伝子クローニング技術

富士フィルムでは、ウサギモノクローナル抗体を効率良く作製するために開発した「ウサギB細胞スクリーニング法」および「B細胞からの抗体遺伝子クローニング技術」を用いて、目的の抗原に結合するウサギモノクローナル抗体を多数作製することが可能になりました。得られるクローンを多数提供できることは、抗原結合性のみをゴールとして据え置くことなく、抗体として重要な性能である、二次スクリーニング（薬効評価、安定性評価等）に適合するべき抗体クローンの選定におおいに役立ちます。

ウサギモノクローナル抗体作製

～高親和性抗体が取得可能なウサギ抗体～

ウサギモノクローナル抗体

作製工程

1. Feasibility Study

配列情報や使用目的を元に、ターゲットの構造および性質を分析し、抗体作製戦略を立案

2. Cloning, Expression Check

cDNAを独自の発現ベクターにクローニングし、哺乳細胞へのトランスフェクション
FACSによる細胞表面への発現確認

3. Immunization

発現ベクターを免疫動物に導入し、抗血清を解析

4. B Cell Cloning

脾臓細胞を摘出し、B細胞1個から抗体遺伝子を増幅させる

6. Monoclonal Antibody

抗体遺伝子を納品

5. Screening testing

抗体遺伝子から簡易発現で組み換え抗体を作製し、抗原結合性を確認
シーケンスし再度抗原結合性を確認

- 可溶性や膜タンパク質など、あらゆる抗原に対応可能
- 抗体遺伝子を納品するため、抗体改変や安定株樹立など、多種のアプリケーションにご利用可能
- 抗原結合性はフルボティの状態を確認します

希望納入価格：600万円～（詳細はお問い合わせください。）

富士フィルム 和光純薬株式会社

本社 〒540-8605 大阪市中央区道修町三丁目1番2号 TEL 06-6203-3741 (代表)
東京本店 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町二丁目4番1号 TEL 03-3270-8571 (代表)

- 九州営業所
- 中国営業所
- 東海営業所
- 横浜営業所
- 筑波営業所
- 東北営業所
- 北海道営業所

フリーダイヤル 0120-052-099

試薬URL : <https://labchem-wako.fujifilm.com>